



「すべては菊のために」

よこみせ てるお
横店 照雄 さん



73歳までエクステリアの仕事をされていた横店さん。その仕事のかたわらで10年ほど前から菊の栽培を始めました。こだわっているのは土作りです。土の配合はもちろん、肥料にもこだわって、自宅で菜種を栽培しています。とれた菜種油は食用にします。しばたあとの油かすと米ぬかを合わせて発酵させたものが肥料に最適だそうです。

たくさんのござわりと、たつぷりの愛情で育った菊は10月～11月に見ごろを迎えます。大事に育てた菊がきれいに咲いたときには「心があつたこうなるんじや。」と言われていました。家の軒先に並べてお茶会をするのが楽しみなんだそうです。横店さんの菊は松原の秋の文化祭や、老人ホームのグリーンヒルでも展示されます。



みんなも、もてなしの心で、植物や農作物を育てているんです。



肥料のために作った菜種から採れた油で、天ぷらにすると最高においしいです！

